

日本金銭機械株式会社  
JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.

# J's REPORT

第71期 中間期株主通信 [ 2023年4月1日～2023年9月30日 ]

## CONSOLIDATED OPERATING HIGHLIGHTS

### 連結業績ハイライト

第71期  
中間期

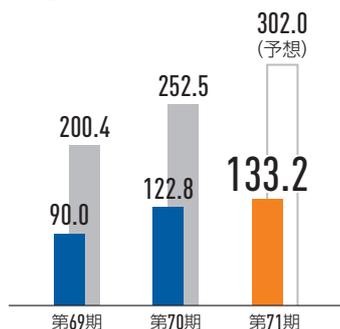
一部に部材不足による影響が残ったものの、ゲーミング・コマース市場での需要が旺盛であったことに加え、遊技場向機器市場でもスマート遊技機関連機器の販売が大きく伸びたことなどから、売上高、営業利益以降の各利益ともに前年同期比で増加いたしました。

売上高

13,321 百万円

前年同期比 8.4%増

■ □ 通期 ■ 中間期 (億円)

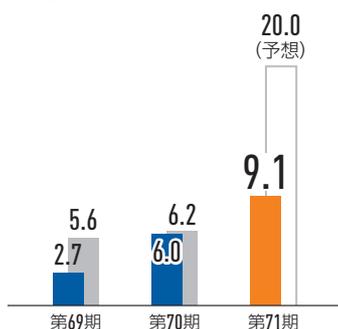


営業利益

919 百万円

前年同期比 53.2%増

■ □ 通期 ■ 中間期 (億円)

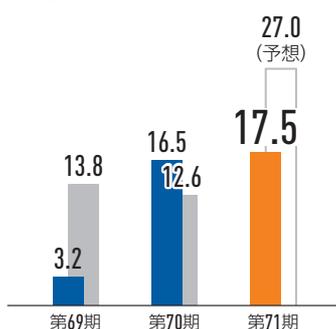


経常利益

1,756 百万円

前年同期比 6.0%増

■ □ 通期 ■ 中間期 (億円)

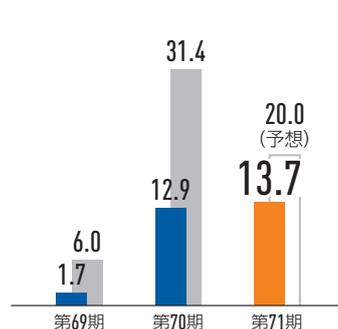


親会社株主に帰属する  
中間 (当期) 純利益

1,371 百万円

前年同期比 6.2%増

■ □ 通期 ■ 中間期 (億円)



第71期の  
見通し

遊技場向機器市場の需要は一段落するものの、当中間期(第71期)業績に一定の影響があった部材不足が解消され、ゲーミング市場を中心に売上の増加が見込まれることから、前期に比べて売上高、各段階の利益ともに増加する見込みがあります。

売上高

30,200 百万円

前期比 19.6%増

営業利益

2,000 百万円

前期比 221.2%増

経常利益

2,700 百万円

前期比 113.0%増

親会社株主に帰属する当期純利益

2,000 百万円

前期比 36.4%減



拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第71期中間期の株主通信をお届けするに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

当中間期の業績につきましては、原材料価格の高騰、インフレ・金融引き締めに加え、円安の進行などの懸念材料も多く存在する一方で、コロナ禍からの経済の本格回復によるゲーミング・コマーシャル市場での需要の増加に加え、遊技場向機器市場ではスマート遊技機の導入に伴い、長らく停滞していた設備投資意欲の高まりなどにより、前年同期を上回る結果となりました。

引き続き、これらの需要の高まりを確実に捉え、社業の発展に努めてまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

2023年12月

代表取締役社長 **上東 洋次郎**

## TOPICS

## トピックス

### TOPICS 1 中期経営計画の策定 ・・・さらなるJCMブランドの拡大に向けて

当社では今般、2025年度（2026年3月期）を最終年度とする中期経営計画「JCM Global Vision 2032」を策定いたしました。

中期経営計画策定に当たって、まず「長期ビジョン」として10年後の「ありたい姿」を定め、今回の当該計画をその「種まき」の期間として位置づけた上で、長期ビジョンの達成のために必要な重点施策や、業績目標等を定めたものであります。

詳細については「中期経営計画JCM Global Vision 2032」をご参照ください。

#### ●2032年のありたい姿(10年後)

■多様化するマネートランザクションにおいて、お客様へ信頼を提供し続ける企業へ

これまでの当社の強みである「貨幣処理機器市場」というニッチな市場で、高いシェアを獲得する

■新たな事業領域でブランドカンパニーとなる

昨今の大きな流れである「キャッシュレス」時代に向け、新たなニッチ市場の獲得に挑戦する

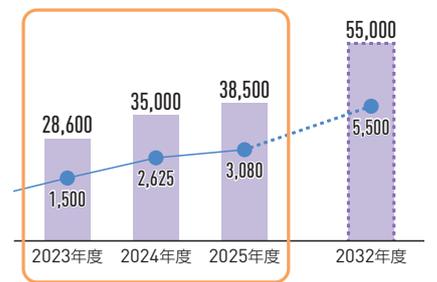
#### ●中期経営計画の重点施策(2025年度までの3か年)

項目	
1	新たな事業領域を構築するための礎（先行投資）を確立
2	既存技術・製品の他市場への積極展開
3	海外コマーシャル市場のさらなる拡大
4	多様化するマネートランザクションへの対応
5	既存事業領域の収益性の改善
6	最適な経営資源の傾注



【中期経営計画 JCM Global Vision 2032】

#### ●業績目標



### TOPICS 2 海外の様々な展示会に出展

本年10月開催の北米カジノ・ゲーミング業界最大の展示会である「Global Gaming Expo (G2E) 2023」においては、主力製品である紙幣識別機ユニットに留まらず、様々な製品、システム、コンセプト等を展示し、多数の来場客の注目を集めました。中でも「ICB ASAP®」は、カジノホールのバックヤードの省力化やセキュリティ向上に資するシステムであり、本年より実際のカジノホールにて実機の稼働が開始されました。

他にも、中期経営計画の重点施策のひとつでもある海外コマーシャル市場のさらなる拡大を図るため、本年6月にはブラジルのサンパウロにて開催された「FEBRABAN TECH 2023」や、北米ニューオーリンズで開催された「2023 NPA Convention & Expo」にも初出展し、多くの集客を集めるなど盛況のうちに終了しました。当社グループでは、このような商談機会を通じて、当社製品のより一層の販売拡大に努めてまいります。



Global Gaming Expo (G2E) 2023 (ラスベガス)



カジノ向けバックヤードシステム「ICB ASAP®」

### グローバルゲーミング

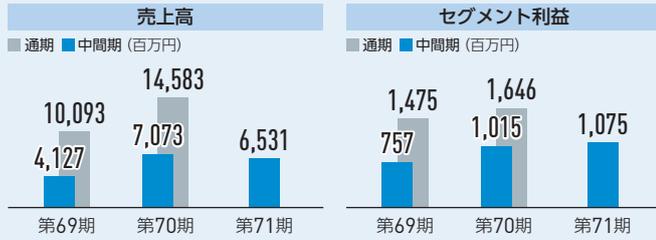


紙幣識別機ユニット  
i-VIZION

売上高 **6,531** 百万円 前年同期比 7.7% 減

セグメント利益 **1,075** 百万円 前年同期比 6.0% 増

部材不足により一部製品の供給に問題があったものの、紙幣識別機ユニット等の需要は旺盛でありました。なお、利益面では、輸送費の減少等により改善しました。



### 海外コマーシャル



紙幣選流ユニット  
MRX

売上高 **2,710** 百万円 前年同期比 17.7% 増

セグメント損失 **137** 百万円 前年同期は 54百万円の利益

欧州地域にて流通市場向けの紙幣選流ユニット及び紙幣識別機ユニットの需要が堅調に推移したことで、売上高が増加した一方、利益面では部材価格高騰の影響が顕在化いたしました。



### 国内コマーシャル

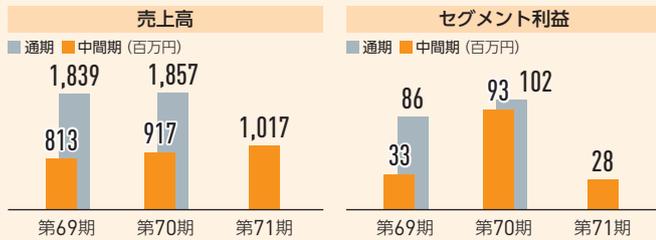


硬貨選流装置  
CRU-06

売上高 **1,017** 百万円 前年同期比 11.0% 増

セグメント利益 **28** 百万円 前年同期比 70.0% 減

セルフガソリンスタンド精算機等の用途向けに紙幣識別機ユニットの販売が伸長した一方で、部材価格高騰の影響は避けられない状況にありました。



### 遊技場向機器

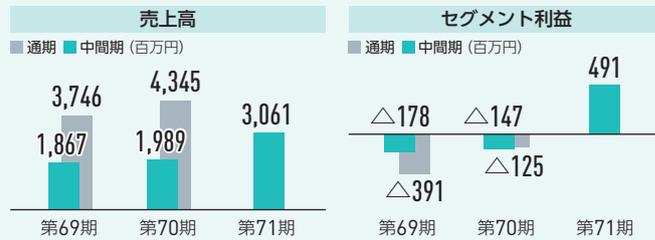


スマート遊技機専用ユニット  
V-REX3

売上高 **3,061** 百万円 前年同期比 53.9% 増

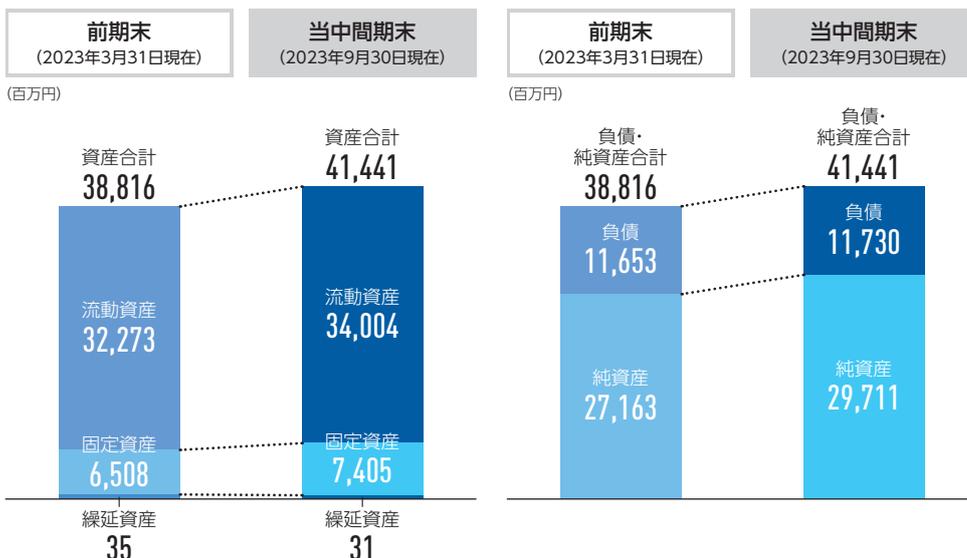
セグメント利益 **491** 百万円 前年同期は 147百万円の損失

スマート遊技機専用ユニットの販売が増加したことに加えて、メダル自動補給システム等の主力製品の販売についても需要が回復傾向にありましたので、売上高、利益ともに増加いたしました。



# CONSOLIDATED BALANCE SHEET

## 連結貸借対照表



### POINT

#### 資産・負債・純資産

流動資産は、「受取手形、売掛金及び契約資産」、「棚卸資産」が増加した一方、「現金及び預金」、「有価証券」が減少いたしました。また、固定資産は、有形固定資産の取得等により増加いたしました。

負債は、「支払手形及び買掛金」、「未払法人税等」が減少した一方、契約負債などが増加いたしました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により「利益剰余金」、存外子会社の時価評価により「為替換算調整勘定」がそれぞれ増加いたしました。

## ■会社概要

商号	日本金銭機械株式会社 JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.
設立	1955年1月11日
本社	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号
東京本社	東京都中央区東日本橋二丁目23番2号
資本金	2,220,316千円
当社グループ拠点 (国内営業拠点)	大阪、東京
(海外営業拠点)	ラスベガス、シカゴ (米国)、 サンパウロ (ブラジル)、 デュッセルドルフ (ドイツ)、 ミルトンキーンズ (英国)、 シドニー (豪州)、マカオ (中国)
(研究開発拠点)	大阪、東京、バンコク (タイ)
(生産拠点)	長浜 (滋賀)、ラグナ (フィリピン)、 香港

## ■取締役及び監査役

代表取締役社長	上東 洋次郎
常務取締役	高垣 豪
取締役	井内 良洋
取締役	中谷 議人
取締役	今井 崇智
取締役(社外取締役)	吉川 興治
取締役(社外取締役)	猿渡 辰彦
常勤監査役	寺岡 路正
監査役(社外監査役)	森本 宏
監査役(社外監査役)	佐藤 陽子

## ■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

## 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) (受付時間 平日9時~17時)
(ホームページURL)	<a href="https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/</a>

## 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## ■株式の状況

発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	29,672,651株
単元株式数	100株
株主数	17,347名

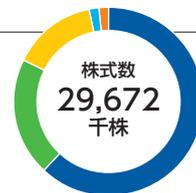
## ■大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	15.88
上東 宏一郎	2,437	8.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,098	7.15
上東 洋次郎	1,458	4.97
上東 好子	638	2.18
株式会社りそな銀行	563	1.92
株式会社三井住友銀行	503	1.72
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.47
日本生命保険相互会社	403	1.37
日本金銭機械従業員持株会	325	1.11

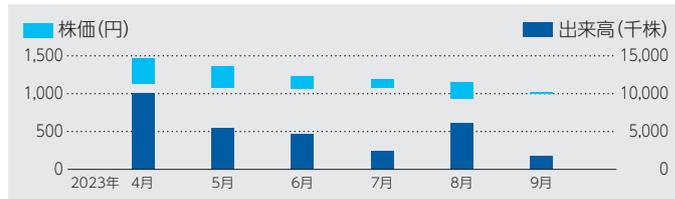
注) 持株比率は自己株式(315,841株)を控除して計算しております。

## ■株式分布状況

個人、その他	18,413千株 (62.06%)
事業法人、その他法人	6,016千株 (20.27%)
金融機関	4,333千株 (14.60%)
証券会社	487千株 (1.64%)
外国法人等	423千株 (1.43%)



## ■株価・出来高の推移



公告方法	電子公告により行う。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。 (公告掲載URL) <a href="https://www.jcm-hq.co.jp/">https://www.jcm-hq.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	6418

## ■株式に関する「マイナンバー制度」について

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- ▶証券会社でお取引をされている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- ▶特別口座に記録されている株主様  
左記特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。



日本金銭機械株式会社  
JAPAN CASH/MACHINE CO., LTD.

〒556-0011 大阪市浪速区難波中二丁目11番18号  
〈お問い合わせ先〉広報・IRグループ TEL(06)6643-8400

